

新ふくおか小学校建設工事（建築主体工事）の遅延について

新ふくおか小学校建設工事（建築主体工事）が、工事の遅れにより、令和5年4月7日に新校舎での開校に間に合わない見込みとなりました。

そのため、現福岡小学校を仮校舎として、予定どおり現在の下野・福岡・高山小学校を統合して4月に開校します。

■経過

- ・令和5年2月7日に、建築主体工事の施工業者より遅延理由書が提出され、令和5年2月末に工事が完了できないとの報告を受けた。
- ・報告を検証し、新しい福岡小学校での令和5年4月の開校、苗木・蛭川小中学校を含めた新しい給食共同調理場の令和5年4月運用開始が困難との判断に至った。

■遅延の理由

- ・コロナ禍による工場の稼働不足やロシアのウクライナ侵攻の影響で、世界的な原材料不足と資材の高騰から、製品の現場への納入遅延につながった。
- ・部材の制作工場の人員不足や、現場の職種毎の慢性的な職人不足が、工程の遅れにつながった。

※令和5年2月7日付け、中島・岡山特定建設工事共同企業体提出「遅延理由書」から引用

■市の対応

（3つの小学校の統合）

- ・予定どおり下野・福岡・高山小学校を統合し、令和5年4月に開校、新校舎完成後に移転

（仮校舎）

- ・現福岡小学校（昭和56年建築）を仮校舎として使用

（給食の提供）

- ・統合した福岡小学校（下野・福岡・高山小学校）は現福岡小学校調理場を使用
- ・新福岡小学校共同調理場に統合予定だった苗木小中学校と蛭川小中学校は、当面の間、現在の苗木学校給食共同調理場、蛭川学校給食共同調理場をそれぞれ使用

（通学の方法）

- ・徒歩通学者は現在の通学ルート、バス通学者は令和5年度の通学ルートを想定

お問い合わせ先

教育委員会事務局 施設計画推進室 担当者：伊藤

電話：0573-66-1111（内線4211）

■参考

(事業概要)

- ・事業期間（当初） 令和2年度～令和4年度
- ・総事業費 約30億円
- ・発注工事等 建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事、木製家具工事、外構工事、エレベータ工事、厨房機器調達
- ・建築主体工事の受注事業者 中島・岡山特定建設工事共同企業体

(新校舎の概要)

- ・校舎棟 木造（一部鉄骨造）2階建 建築面積：2,512 m² 延床面積：4,369 m²
- ・屋内運動場 R C造2階建（2階は学童室） 建築面積：815 m² 延床面積：990 m²
- ・共同調理場 鉄骨造 建築面積：520 m² 延床面積：520 m² 配食数：1,200食
- ・その他 グランド（約4,000 m²）、渡り廊下

(統合の経過)

- ・平成27年 市総合計画中期事業実施計画で小学校の統合について位置づけ
- ・平成30年 新ふくおか小学校統合準備委員会立ち上げ
- ・令和2年3月 田瀬小学校閉校
- ・令和2年4月 田瀬小学校が下野小学校と統合、下野小学校として開校
- ・令和3年9月 新ふくおか小学校建設工事着手
- ・令和5年3月 下野小学校、福岡小学校、高山小学校閉校
- ・令和5年4月 統合小学校（下野、福岡、高山小学校）が仮校舎（現福岡小学校）で開校

(統合後の生徒数等)

- ・令和5年度新福岡小学校児童数（令和4年12月時点） 289人
- ・教室数は普通教室×12（学年2クラス）、特別支援教室×2、通級指導教室×1（予定）